

conSept

Musical
Drama

#10

跳
び
上
が
る、

ショウマン

SHOWMAN

4 番目の影武者

た
だ
呼
吸
す
る
た
め
に

Written by Jungsuk Han | Music by Sunyoung Lee

翻訳：朱元燮

上演台本・訳詞・演出：シライケイタ

音楽監督：国広和毅

松岡充 潤花 藤岡正明 万里紗 福井晶一 福室莉音

新国立劇場小劇場

2026年9月1日(火)～13日(日)

韓国ミュージカル主要部門を席卷した傑作！

第7回韓国ミュージカルアワードで大賞、脚本賞、主演男優賞を受賞し、音楽賞にもノミネートされた本作は「エンタテインメント性、芸術性、社会性を兼ね備える傑作!!」と批評家のみならず舞台ファンからも絶大な支持を集めた作品だ。

作品の大きな特徴は芝居要素とミュージカル要素が絶妙なバランスで両立している点にある。緻密な台詞やアクションに寄り添う音楽が情景を鮮やかに浮かび上がらせるが、しかし主役であるネブラが自らの心情を過剰に歌いあげるのではなく、周囲の人物たちが彼の内面や彼を取り巻く環境を立体的に描き出していくという手法が用いられている。

この巧みな構成によって観客は常に緊張感を保ったまま物語の深部へと引き込まれ、人種や国境を越えて多くの観客を魅了する作品世界が生まれている。

“あなた自身だった瞬間はありますか”

資本主義、能力主義、戦争、支配——。

幼い頃に純粋な気持ちで抱いていた夢は、いつか「生きるための道具」になり、やがて「足枷」に変わっていく。気がつけば、自分が何のために、何をしているのか分からなくなるような感覚に陥ったことのある人は、決して少なくないだろう。

特に、個人が記号のように扱われ、埋もれてしまいやすい日本社会においては。

名もなき俳優の一人だったネブラは、「誰かの身代わりになること」で人生の頂点を迎える。

一方のスアは、「自分の人生を誰かのために差し出すこと」で、貧困から抜け出し、異国で生き延びるための資格を手に入れる。

この作品は、「自分が自分自身であるとは何か」を問いかけると同時に、自らの人生と向き合うとはどういうことなのかを、静かに問いかけてくる。

苦しくても、楽しくても、ここにいるこれこそが“私”なんだと、誰かに伝えたい。

● あらすじ

2020年、アメリカ・ニュージャージー州の小さな町。大型スーパー「グッデー・マート」の職員である韓国系アメリカ人・スアは唯一の趣味である遊園地巡りをしていたところ。職業ピエロである怪しげな老人・ネブラと出会う。スアをプロのカメラマンと勘違いしたネブラは彼女に自分のポートレートを撮って欲しいと依頼。

最初はチップをねだられているのだと勘違いしたスアだったが、小遣い稼ぎになるかもと面白半分ポートレート撮影を引き受ける。しかし、スアの予想とは異なりネブラにはこの撮影に臨む壮大な計画と想いがあった。

撮影が始まると、「本当の自分の姿を残したい」と自身の人生を渾身の思いで語りながら演じ始めるネブラ。

スアはその姿に拒否感や嫌悪感を感じながらも何故か撮影を止めることができず、やがてネブラの人生の核心に迫る撮影日を迎える。

● 韓国公演のレビュー

暗い海のような我々の人生に向かって
サーチライトを照らしてくれる灯台のような作品だ
～毎日経済新聞～

自らを疲弊させてしまう今の世の中で
主体性のある人生を生きることはできなくても
自分の役割だけ果たそうとする数多の凡人に寄り添う作品だ
～イーデイリー～

飛び跳ねて、洗って、また飛び跳ねるネブラとスアの人生
苦しいけれどそれは我々の物語だ
～朝鮮日報～

TICKET

■チケット料金（全席指定・税込）

一般席：12,800円、バルコニー席：11,800円

■チケット一般発売日：2026年6月20日（土）10:00～

注意事項

※未就学児はご入場いただけません。

※開演後は本来のお席にご案内できない場合がございます。

あらかじめご了承ください。

※公演中止の場合を除き、チケットの変更・払戻しはいたしません。

※本公演のチケットは「チケット不正転売禁止法」の対象となる

「特定興行入場券」として販売いたします。

主催者の同意のない有償譲渡は禁止されています。

※車椅子席をご希望の方は事前に必ず order@concept-s.com までご連絡ください。

INFORMATION

■お問合せ

サンライズプロモーション

0570-00-3337（平日12:00～15:00）

■公式サイト

<https://concept-s.com/showman>



■@concept2017

■@concept2017

■<https://m.youtube.com/c/concept>

SCHEDULE

■日程と会場

2026年9月1日（火）～13日（日）

新国立劇場小劇場

東京都渋谷区本町1丁目1番1号

<https://www.nntt.jac.go.jp>

京王新線「初台駅」中央口直結

※都営新宿線乗入れ。

京王線は止まりません。

9/1 (火)	2 (水)	3 (木)	4 (金)	5 (土)	6 (日)	7 (月)	8 (火)	9 (水)	10 (木)	11 (金)	12 (土)	13 (日)
	13:30	◎13:30		12:30	12:30	休 演		13:30	13:30	13:30	12:30	★12:30
★19:00	19:00		19:00	17:30			◎19:00	19:00		19:00	17:30	

※開場時間：開演30分前

※★スペシャルカーテンコール（初日・千秋楽を記念してキャストよりご挨拶）

※◎終演後シアタートーク実施

9月3日（木）13:30 松岡充、潤花、シライケイタ、国広和毅 9月8日（火）19:00 藤岡正明、万里紗、福井晶一、福室莉音

STAFF

脚本・作詞：ハン・ジョンソク

作曲：イ・ソニョン

翻訳：宋元燮

上演台本・訳詞・演出：シライケイタ

音楽監督：国広和毅

振付・ステージング：木下菜津子

美術：長田佳代子

照明：横原由祐

衣裳：半田悦子

音響：岡田 悠

ヘアメイク：田中エミ

演出助手：有坂美紀

稽古ピアノ：前田涼子

舞台監督：川除学

稽古場代役：丸山真矢

演奏：前田涼子 (Pf)、国広和毅 (Key)

熊谷太輔 (Perc)、大野萌子 (Trp)

磯部舞子 (Vn)、島津由美 / 平井麻奈美 (Vc)

宣伝デザイン：高橋誠己 (think-small)

WEBデザイン：eclipsodesign

宣伝衣裳：高山良昭

宣伝ヘアメイク：田中エミ、笹川知香 (松岡充)

スチール撮影：オノデラカズオ

PV動画製作：深沢慶央

動画撮影：角直和

票券：サンライズプロモーション

制作：横井祐輔、大友泉

プロデューサー：宋元燮、石橋千尋

企画・製作：conSept、NHKエンタープライズ

主催：conSept、NHKエンタープライズ

サンライズプロモーション